



一人ひとりの想いをつないだ折鶴タペストリー

市民に呼び掛け、青色、橙色、白色の折鶴を多数作り、折鶴を利用して、大勢の市民とともに新潟市の情景をイメージするタペストリーを作成しました。作成した折鶴タペストリーを新潟駅西側連絡通路に掲揚しました。(芸術祭終了後にはNEXT21に掲示実績有) 新潟市をアピールする絶好の場になる人通りの多い新潟駅連絡通路に展示させていただいた事やSNSによる発信効果もあり、県内外の方々に折鶴を見ていただき、新潟の団結力の強さなどを知っていただきました。このプロジェクトは「大勢の方が心を込めて作った折鶴で新潟が誇る風景を再現し、県内外の方々に楽しんでいただくこと」「オレンジ色・青色というアルビカラーをまちに広げること」「新潟サポーターだけでなく、人と人とのつながりを拡大すること」「スポーツ(アルビ)をキーワードとしたまちの元気づくりを推進すること」「チームの1年でのJ1復帰を力強く後押しする

こと」を目的に実施しました。誰もが参加しやすい折鶴ということから、年代に関係なく多くの方々の参加があり、一緒に作業を進めることができ、世代間を越えた交流の場の創出ができました。みんなで素敵な作品を作ろうという明確な目標が持て、やりがいを感じていただきながら作業を進められたと思います。お菓子や飲み物を持ち寄りながら、休憩時間には、参加者同士で楽しく語りました。年齢に関係なく、とても心と心交流を楽しむ場所になったと思います。また、市民一人ひとりの達成感につながり、まちづくりに関わる意識の向上につながりました。

【折鶴タペストリー】1枚の規格：縦列45羽、横列141羽(高さ約0.75m×幅2.4m) 1枚6,345羽の折鶴でできたタペストリー。4枚あるので、25,380羽の折鶴でできあがっています。

- 5月20日(日)～7月30日(月)の内13回 折鶴づくり(新潟市内各所)
- 7月30日(月)～10月9日(火) 掲揚(新潟駅西側連絡通路)